令和4年（2022年）7月15日
令和4年度　第2回多文化共生推進評議会　資料1

八王子市多文化共生推進プランに基づく取組み状況

（主な取組）

多文化共生推進課

多文化共生推進プラン（改定版）　施策の体系図

【基本理念】　国籍、民族、文化の違いを互いに認め合い、助け合い、活かし合いながら共に暮らす多文化共生のまちづくり

基本目標	施策の柱	施策のテーマ	No	推進する施策		ページ数
＜目標1＞ 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現	Ⅰ コミュニケーション支援の充実	1．多言語等による情報提供の充実	1	行政情報、各種申請書の多言語化		1
			2	多言語による窓口対応、相談事業の充実		2
			3	語学ボランティア等の育成と活用	[重]	2
			4	案内表示等の多言語化		3
			5	やさしい日本語の普及と活用	[重]	3
		2．日本語学習支援	6	日本語学習支援者の育成と活用		4
			7	外国人市民向け日本語学習機会の提供		4
		3．外国人市民の社会参加	8	外国人市民のネットワーク活性化		5
			9	外国人市民の社会参加の支援	[重]	5
			10	外国人市民の町会・自治会等への加入促進		5
	Ⅱ 生活支援の充実	1．教　育	11	帰国・外国人児童生徒等への情報提供		6
			12	帰国・外国人児童生徒への日本語による学習支援		6
			13	不就学の外国人児童生徒等への対応		7
			14	帰国・外国人児童生徒等の進路指導の充実		7
		2．医療・福祉	15	多言語で対応できる医療機関の情報提供		8
			16	外国人にもわかりやすい医療・福祉・子育て情報の充実		8
			17	外国人患者への多言語対応の充実		9
		3．住　居	18	多言語による暮らしに関連する情報の充実		9
			19	外国人市民への入居差別の解消、居住支援		10
		4．就　労	20	外国人市民の就職・就業環境の改善	[重]	10
			21	外国人就業者とその家族の支援		11
		5．防　災	22	災害時のわかりやすい情報提供		11
			23	外国人市民への防災・災害対応に関する意識の啓発		12
			24	災害時における外国人支援の仕組みの整備		12
			25	災害時の通訳ボランティアの育成・支援		13
		6．外国人留学生	26	外国人留学生への生活支援		13
			27	外国人留学生への就職支援	[重]	14
			28	外国人留学生の能力を活用した地域活性化	[新]・[重]	14
			29	日本語学校に所属する外国人留学生の支援	[新]	15

多文化共生推進プラン（改定版）　施策の体系図

【基本理念】　国籍、民族、文化の違いを互いに認め合い、助け合い、活かし合いながら共に暮らす多文化共生のまちづくり

基本目標	施策の柱	施策のテーマ	No	推進する施策		ページ数
＜目標2＞ 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現	III 多文化共生意識の啓発 国際理解・国際交流の推進	1．多文化共生意識の啓発	30	多文化共生意識啓発に関する事業の実施		15
			31	多文化共生を推進する市民の育成	[重]	16
			32	多文化共生意識啓発期間の設定	[新]	16
		2．国際理解・国際協力	33	国際理解の推進	[重]	17
			34	国際協力団体等との連携による国際協力及び啓発		17
		3．外国人観光客等へのおもてなし	35	外国人観光客等への観光案内	[重]	18
			36	おもてなしマインドの推進	[新]	18
			37	国際的なビジネスイベントへの対応	[新]	19
		4．海外友好交流都市等との交流	38	海外友好交流都市との交流		19
			39	青少年による文化・スポーツ等の海外交流事業の推進		20
			40	市民・民間団体等の海外交流事業の支援		20

※[新]・・・プランの改定に伴い、新規で追加しているもの　　[重]・・・プランの改定に伴い、重点施策に設置しているもの

施策No.1　行政情報、各種申請書の多言語化

R3年度取組み数：44

【施策概要】行政情報、各種申請書の翻訳を進め、多言語による情報提供の充実を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
外国人のためのくらしの便利帳	行政情報や医療、防災などの日常生活に必要な情報を掲載した「外国人のためのくらしの便利帳」（英語、中国語）を作成する。	H16	→	→	→	外国人のためのくらしの便利帳（英語、中国語）を作成。 転入時等に配布した。	行政情報のほか、各種申請書等の多言語化への取組みを引き続き進める。
外国人向け情報誌「Ginkgo」	市役所の業務や市の施設・行事紹介などを掲載した日本語（ルビ付）と併記の多言語（英語、中国語、韓国語、スペイン語）情報誌を作成する。	H7	→	→	→	外国人向け情報誌「Ginkgo」を英語、中国語、韓国語、スペイン語で作成、配布した（年6回発行）。	
家庭用ごみ・資源物カレンダー外国語補助冊子の作成	家庭用ごみ・資源物収集カレンダー外国語補助冊子を作成する。	H18	→	→	→	英語、中国語、韓国語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語、カンボジア語の計9種類の家庭用ごみ・資源物収集カレンダーの補助冊子を作成した。	
多言語翻訳電子書籍アプリを活用した行政情報の多言語化	多言語翻訳電子書籍アプリ「カタログポケット」を活用し、「広報はちおうじ」をはじめとする行政情報の多言語化を進める。	R2	→	→	→	R2年より、多言語翻訳電子書籍アプリ「カタログポケット」を導入。アプリを通じて、外国人市民に向けて行政情報を多言語で発信。 広報紙で同アプリを周知するとともに、多文化共生推進課と協力して、外国人向けのイベントや発行物を通じて利用者増を図る。また、防災課が発行する「総合防災ガイドブック」を同アプリで公開するなど、防災関連情報の発信にも活用していく。	
郷土資料館展示解説の多言語化及びガイドボランティアのガイド補助機器の整備	日本遺産の認定を受け、八王子の歴史・文化をより多言語によりわかりやすく説明するため、展示ガイドアプリを導入する。また、ガイドボランティアが展示を説明する際の補助機器を整備する。	R2	⇒	→	→	R3年度にオープンした桑都日本遺産センター 八王子博物館（はちはく）においても、アプリや補助機器を活用し、多言語対応を充実させていく。	

施策No.2　多言語による窓口対応、相談事業の充実

R3年度取組み数：17

【施策概要】多文化共生推進事業協力員や八王子国際協会の語学ボランティアによる通訳のほか、多言語シートやICT技術等の活用により、多言語による窓口対応等の充実を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
在住外国人サポートデスク	外国人市民の生活・コミュニケーションに関する相談や暮らしの情報提供を行う外国人サポートデスクの設置。	H16	→	→	→	サポートデスクにおいて、外国人市民の生活・コミュニケーションに関する相談対応、暮らしの情報提供を実施 【相談件数】1,221件	窓口対応の更なる充実に向け、ICT技術の活用が進んでいる。
行政書士による外国人個別相談	行政書士による外国人個別相談を実施する。	H20	→	→	→	外国人を対象に行政書士による個別相談を実施（月1回） 【相談件数】21件	
多言語テレビ電話通訳	タブレット端末を利用したテレビ電話通訳によって、市役所職員と外国語を話す来庁者の間の通訳を行う。	R2	→	→	→	特に子育て・福祉関連所管での利用が多い。利用した部署からはおおむね好評。庁内での周知を進め、更なる活用を図る。 【利用件数】67件	

施策No.3　語学ボランティア等の育成と活用　重点

R3年度取組み数：9

【施策概要】市役所窓口や在住外国人サポートデスクのほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などの国際的なイベント等においても語学ボランティア等が活躍できるよう支援する。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
語学ボランティアによる通訳・翻訳支援	NPO法人八王子国際協会に登録している語学ボランティアによる通訳・翻訳支援	H15	→	→	→	語学ボランティア 【通訳実績】14件（学校、児童相談所など） 【翻訳実績】34件	語学ボランティア登録者数は年々増えている。引きつづき登録者の増加をめざす。 【語学ボランティア登録者数】 H29：253人 R30：272人 R 1：349人 R 2：352人 R 3：357人 （R4.3月末現在）

施策No.4　案内表示等の多言語化

R3年度取組み数：7

【施策概要】市の施設や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて多言語案内表示重点地区に指定された八王子駅周辺地域等の多言語案内表示の充実を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
ユニバーサルデザインガイドライン	外国人を含む全ての人にわかりやすい印刷物となるよう、ユニバーサルデザインガイドラインを作成する。	H29	→	→	→	ガイドラインを基に、多文化共生の観点を含む、ユニバーサルデザインに沿った庁内で統一的な印刷物の作成を推進した。	公共施設等において、英語併記を中心にした案内表示の改善を進めている。
本庁舎案内の多言語化	本庁舎内における英語表記の看板の設置	H25	→	⇒	⇒	英語表記の看板設置についての計画を立て、設置箇所について優先順位付けを行なった。R5年のレイアウト変更に向け、本庁舎案内の更なる多言語化を進める。	

施策No.5　やさしい日本語の普及と活用　重点

R3年度取組み数：5

【施策概要】「やさしい日本語」の普及啓発に努めるとともに、マニュアルの作成及び職員研修等により、行政情報の提供や窓口対応等における「やさしい日本語」の活用を推進する。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
公園の案内表示の「やさしい日本語」表記	外国人市民向けに、マナー看板やコーションサインへ「やさしい日本語」表記。	H27	→	→	→	外国人市民へ向けて、マナー看板やコーションサインにおいて平易な日本語を使用し、漢字にはフリガナをふるなどの工夫をした。	「やさしい日本語」の活用は徐々に進んでいる。更なる周知が必要である。
やさしい日本語講座	市民向けにやさしい日本語講座を実施	H27	→	→	→	2月にオンラインで開催。 テーマ：「やさしい日本語」で伝えよう 講師：岩田一成氏（聖心女子大学） 参加者：15名	
職員向けやさしい日本語研修	職員研修時にやさしい日本語について説明し、職員に周知する。	H26	△	⇒	→	R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、職員向けの研修の実施を見送った。R4年度はeラーニングにより全職員を対象に研修を実施予定。	

施策No.6　日本語学習支援者の育成と活用

R3年度取組み数：1

【施策概要】日本語学習支援を実施するボランティア団体等と連携し、日本語学習支援者の育成及び活動機会の充実を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
日本語ボランティア養成講座	外国人の日本語学習を支援するボランティアを養成する講座を実施する。	H20	→	→	→	日本語ボランティア養成講座の実施 【受講者数】基礎講座2回：44人 ステップアップ講座：感染症対策により中止	日本語ボランティア養成講座の実施において日本語学習支援者数が増えるよう、ボランティア団体と連携している。

施策No.7　外国人市民向け日本語学習機会の提供

R3年度取組み数：4

【施策概要】市内で開催する各種日本語学習教室の場所や日時等を配慮し、外国人市民が学びやすい環境を整備するほか、市内外問わず日本語学習教室の情報提供の充実を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
日本語教室	外国人支援団体等による日本語教室を実施する。	不明	→	→	→	外国人支援団体等による日本語教室の運営を支援。 新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、会場の閉鎖、利用時間・利用者数の制限により、例年に比べ参加者が減少。 【参加者数】2,081人	引き続き日本語を学習する機会を提供するほか、ホームページや外国人情報誌等で情報発信を行う。
外国人のための日本語教室（生涯学習センター）	外国人のための日本語教室を実施する。	H2頃	→	→	→	「外国人のための日本語教室」（3コース）を運営した。 【参加者数】379人 講座チラシは4か国語（英語、中国語、韓国語、スペイン語）で発行。	
外国人介護従事者等に対する日本語学習支援事業	介護業務に必要な日本語の語学力を習得する教室を実施し、介護分野における人材の確保・育成のほか、質の高い介護サービスの提供体制の強化を図る。	R1	⇒	→	→	受講者のレベルに応じ、初級・中級・上級の3クラスで実施した。 R3年度から市内介護事業所との就職相談会も開催。 春期（5～8月）　：12回　26人 秋期（10～2月）：12回　22人	

施策No.8　外国人市民のネットワーク活性化

R3年度取組み数：2

【施策概要】八王子国際協会が外国人市民、日本人市民のコミュニケーションの場としても機能するよう周知するとともに、イベントの実施、情報提供の充実、キーパーソンの育成等によるネットワークの活性化を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
外国人コミュニティでの防災訓練	外国人が集まるコミュニティを対象に、防災訓練を実施する。	H28	△	→	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、R3年度は実施せず。	R4年度は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、実施の可否を検討する。

施策No.9　外国人市民の社会参加の支援

重点

R3年度取組み数：5

【施策概要】外国人市民の能力を活かしたボランティア等社会活動への参加を促進するとともに、外国人市民が日本人市民とともに主体的に社会参加できる環境を整備する。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
世界の人とふれあいタイム	外国人が自国の歴史、文化などを映像や音楽などを交えて紹介する「世界の人とふれあいタイム」を実施する。	H16	→	→	→	イラク共和国、英国、モロッコ王国をテーマに3回開催。 【参加者数】107人	外国人がイベントの企画・運営に参加出来るような仕組みを検討する。
語学講座	語学学習を通して、外国の文化や習慣を理解するための語学講座を実施	H18	△	→	→	新型コロナ感染症対策ですべて中止	

施策No.10　外国人市民の町会・自治会等への加入促進

R3年度取組み数：3

【施策概要】町会・自治会等に関する情報の多言語化を進めるほか、町会・自治会とつながるきっかけを作り、町会・自治会への理解を深めることで、加入促進を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
外国人市民のための「町会・自治会への加入促進チラシ」	外国人に対して町会・自治会への加入促進を図るため、「町会・自治会への加入促進チラシ」の英語、中国語、韓国語版を作成する。	H25	→	→	→	多言語版で作成したチラシを転入時等に配布し、町会・自治会への加入促進を図った。	町会・自治会の活動内容について、外国人市民への更なる周知が必要である。

施策No.11　帰国・外国人児童生徒等への情報提供

R3年度取組み数：8

【施策概要】文部科学省が提供している「帰国・外国人児童生徒教育のための情報検索サイト（かすたねっと）」等を活用し、帰国・外国人児童生徒等への多言語による情報提供を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
多言語対応双方向通訳デバイスの活用	外国人児童・生徒及び保護者とのコミュニケーションを円滑に行うため、多言語対応双方向通訳デバイスを導入する。	R1	→	→	→	学校での外国人児童・生徒及び保護者とのコミュニケーションを円滑に行い、学校生活や学習活動に対する不安や適応困難な状況に的確に対応するため、POCKETALK（ポケトーク）を活用。	引き続き、日本語の習得状況や学校生活への適応状況などに応じて支援者をするほか、通訳デバイスの活用により、必要な支援を行う。
外国籍等児童生徒就学時支援者の派遣	来日して間もない児童・生徒で、日本の生活や言語などが全く理解できない場合の就学時に、母語を理解できる外国籍等児童生徒就学時支援者を任用し、在籍校に派遣する。	H4	→	→	→	日本語の習得が充分でない児童・生徒の就学に対する不安を解消し、学校生活への円滑な適応を実現するため、就学当初から支援者を派遣。また、日本語の習得状況や学校生活への適応状況等に応じ、追加派遣を実施。 【支援児童生徒数】小学校：21名、中学校：9名	

施策No.12　帰国・外国人児童生徒への日本語による学習支援

R3年度取組み数：8

【施策概要】帰国・外国人児童生徒が学校生活に適応できるよう、市及び教育委員会、ボランティア団体等が連携し、日本語による学習支援の充実を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
学習支援教室の実施	外国にルーツを持つ子どものための学習支援を行う学習支援教室を実施する。	H21	→	→	→	【実施回数・学習者数】 北野学習支援教室：20回 12名 八王子駅前教室：20回 10名 【学習支援者】26名	R1年度に初期指導教室の運営を開始したほか、支援者によるサポート時間を延長など、引き続き学習者のニーズに合わせた運営を検討する。
日本語学級の設置	由井第一小学校及び打越中学校に日本語学級を設置し、日本語の習得が不充分な外国人児童・生徒の実態に応じた授業を実施。	H1	→	→	→	【学習者数】由井第一小：70名 打越中：20名	

施策No.13　不就学の外国人児童生徒等への対応

R3年度取組み数：5

【施策概要】多言語化した就学案内等を活用し、不就学の外国人児童生徒とその保護者への情報提供の充実を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
就学に関する案内の多言語化	多言語版（英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語）の就学に関する案内を作成・配布する。	H18	→	→	→	多言語版（英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語　計6言語）の就学に関する案内（「日本語学級及び日本語指導について」「就学援助費について」）を窓口にて配布、説明。	学習支援教室やGinkgoなどで就学に関する情報提供を行っている。
学校入学前の就学案内の多言語による情報提供	外国人新入学児童・生徒の保護者への案内通知を多言語（英語、中国語、韓国語、スペイン語）で通知する。	H18	→	→	→	外国人新入学児童・生徒の保護者への案内通知（小学校新入学案内通知・学校選択制案内通知・就学時健康診断通知・入学通知書）を多言語（英語、中国語、韓国語、スペイン語　計4言語）で通知。 【通知件数（令和4年度新入学児童生徒）】小学校：49件、中学校：51件	

施策No.14　帰国・外国人児童生徒の進路指導の充実

R3年度取組み数：5

【施策概要】進学等に関する情報の多言語化や高校進学ガイダンス等による進路指導の充実を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
高校進学ガイダンス	外国にルーツを持つ子どもや保護者を対象に、高校入試制度等を説明する「日本語を母語としない高校進学ガイダンス」を実施する。	H22	→	→	→	「日本語を母語としない高校進学ガイダンス」を実施した。 【参加者数】7か国 21家族 41人	就学ガイドブックを配布しているほか、ガイダンスを実施しているが、母国との制度の違い等により理解されない場合がある。
「就学ガイドブック」の配布	文部科学省で作成している「就学ガイドブック」（多言語版）を保護者に配布し、日本の教育制度や受験制度について情報を提供する。	H17	→	→	→	文部科学省で作成している「就学ガイドブック」（多言語版）を保護者に配布し、日本の教育制度や受験制度について情報提供した。	

施策No.15　多言語で対応できる医療機関の情報提供

R3年度取組み数：2

【施策概要】多言語対応可能な医療機関のリストを作成し、外国人市民が自ら適切な医療機関を選択できる体制を構築する。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
多言語対応可能医療機関の情報提供	多言語対応可能医療機関を検索できる東京都医療機関案内サービス“ひまわり”の案内、一部医療機関の多言語対応状況の紹介をする。	H25	→	→	→	市ホームページやくらしの便利帳、市役所窓口等で東京都医療機関案内サービス“ひまわり”の案内を行った。	東京都医療機関案内サービス“ひまわり”の案内に加え、関係団体が提供している外国人向け医療機関情報を収集し、ホームページ等での周知を図る。
外国人向け医療機関の情報提供	関係団体が提供している外国人向け医療機関情報を収集し、ホームページ等を活用して周知する。	R2	→	→	→	AMDA国際医療情報センターなどについて情報提供をしていく。	

施策No.16　外国人にもわかりやすい医療・福祉・子育て情報の充実

R3年度取組み数：23

【施策概要】医療・福祉制度や子育てなどに関する情報の多言語化や「やさしい日本語」の活用を促進し、情報提供、窓口対応の充実を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
保育所等における多言語対応推進	保育現場において、外国にルーツを持つ子ども及びその保護者とのコミュニケーションを円滑に行い、保育士の負担を軽減するため、双方向通訳機を保育施設等に配備する。	R3	☆	→	→	双方向通訳機を市で一括購入し、保育施設等に配備。 【配備台数】163台	多言語版による案内文書等が充実してきている。
保健相談	妊婦面談及び乳幼児健康診査等の保健事業において個別に対応する。	H24	→	→	→	妊婦面談及び3～4か月児健康診査にて、英語版アンケートを作成し活用した。 乳幼児健診の未受診者へ訪問する場合は、外国語表記（英語、中国語、韓国語、スペイン語、タガログ語、ポルトガル語）の手紙を活用した。 地区担当保健師による訪問、電話、面接相談や妊婦面談等を実施した。	
子育てガイドブック	子育て支援に関わる各種サービスの情報を分かりやすく紹介する子育てガイドブックの一部情報についての、外国語版（英・中・韓）を作成する。	H28	⇒	→	→	多言語翻訳電子書籍アプリを使用し、9か国語に対応した電子書籍として公開。	

施策No.17　外国人患者への多言語対応の充実

R3年度取組み数：3

【施策概要】医療通訳ボランティアへの研修やICT技術等の活用により、多言語対応の充実を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
語学ボランティア	語学ボランティア登録者の募集・育成・活用を行う。	H20	→	→	→	募集を随時行っている。 語学ボランティア 【言語数・登録者数】20言語・357人 医療通訳ボランティア 【言語数・登録者数】12言語・70人 災害時通訳ボランティア 【言語数・登録者数】9言語・38人　（R4年3月末現在）	広域医療通訳ボランティア派遣制度の構築を東京都に要望するほか、引き続き、国や都の動向について情報を収集する。
多言語医療問診票の医療機関への周知及び活用	災害時における多言語医療問診票の有効性を八王子市医師会を通して、各医療機関に紹介。	H26	→	→	→	災害時における多言語医療問診票の有効性を八王子市医師会を通して、各医療機関に紹介した。	

施策No.18　多言語による暮らしに関連する情報の充実

R3年度取組み数：9

【施策概要】生活上のルールや住居に関する基礎知識等の情報を多言語化するとともに、関係機関等と連携して外国人市民への効率的な周知を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
Facebookによる外国人への情報発信	外国人を対象に、Facebookを活用し、多言語での情報発信を行う。	R2	→	→	→	新たに英語版・中国語版の公式Facebookページの運用を開始。R3年度は新型コロナウイルス感染症関連、休日医療機関情報などを中心に、生活に関わる情報発信を行った。	アプリやSNSを活用した多言語での情報発信が進んでいる。
多言語翻訳電子書籍アプリを活用した行政情報の多言語化	多言語翻訳電子書籍アプリ「カタログポケット」を活用し、「広報はちおうじ」をはじめとする行政情報の多言語化を進める。	R2	→	→	→	広報紙で同アプリを周知するとともに、多文化共生推進課と協力して、外国人向けのイベントや発行物を通じて利用者増を図る。また、防災課が発行する「総合防災ガイドブック」を同アプリで公開するなど、災害情報等の発信にも活用していく。	

施策No.19　外国人市民への入居差別の解消、居住支援

R3年度取組み数：3

【施策概要】外国人市民が円滑に民間賃貸住宅に入居できる環境を整備するため、外国人であることを理由に入居を拒まない住宅の確保に取り組むとともに、入居の受入れにあたり賃貸人が抱く不安を解消するための入居支援を行う。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
住宅セーフティネットの促進	住宅確保要配慮者（低所得者、高齢者、障害者、子どもを育成する家庭、外国人その他住宅の確保に特に配慮を要する者）の民間賃貸住宅への円滑な入居を促進するため、住戸の登録や賃貸人等への補助金交付等により支援を行う。	H30	→	→	→	住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の登録を促進し、家賃低廉化補助を実施した。	
外国人留学生住居賃貸代行保証料補助金制度	外国人留学生が八王子市で賃貸住宅を借り、保証人代行制度を利用した際の一部を補助	H19	⇒	→	→	R3年度から、対象を日本語学校の学生等にも拡大。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、利用件数は伸びなかったものの、日本語学校等の生徒の利用割合は高く、ターゲットを拡大した効果が確認できる。 【利用件数】16件	

施策No.20　外国人市民の就職・就業環境の改善　重点

R3年度取組み数：8

【施策概要】事業者や関係機関と連携し、就職支援セミナー等の開催や外国人市民を採用した企業への支援等により、就職・就業環境の改善を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
外国人労働者ハンドブック等の配布	東京都が発行した外国人労働者ハンドブックなど、外国人の就職・就業に関するパンフレットを配布	H26	→	→	→	外国人労働者ハンドブックを継続的に配布するとともに、日本学生支援機構が作成した「外国人留学生のための就職ガイド」を外国人留学生のための市HPで公開・周知した。	ホームページ等での情報提供の充実を図っていく。
就職に関する情報の提供	日本で就職を希望される外国人市民や外国人留学生向けに情報を収集し、ホームページ等を活用して情報提供を図る。	R1	→	→	→	日本で就職を希望する外国人向けの情報ページを作成し、関連情報を提供していく。	

施策No.21　外国人就業者とその家族の支援

R3年度取組み数：6

【施策概要】在住外国人サポートデスク等の相談窓口の充実を図るほか、関係機関等と連携し、就業者とその家族を支援する。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
在住外国人サポートデスク	外国人市民の生活・コミュニケーションに関する相談や暮らしの情報提供を行う外国人サポートデスクの設置。	H16	→	→	→	サポートデスクにおいて、外国人市民の生活・コミュニケーションに関する相談対応、生活に関する情報提供を実施 【相談件数】1,221件	外国人市民向けの交通安全教室など、就業者とその家族への支援の充実を図っていく。
交通安全教育	日常生活や仕事中に必要不可欠な日本での交通ルールやマナーに関する講習を行い、交通安全意識の高揚を図り、交通事故のない安全で安心なまちを創る。	不明	△	→	→	新型コロナウイルス感染症の影響で実施せず。	

施策No.22　災害時のわかりやすい情報提供

R3年度取組み数：4

【施策概要】関係機関と連携し、災害時の情報提供方法の多様化や内容の多言語化を進めるとともに、「やさしい日本語」を活用した防災情報の提供を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
八王子市総合防災ガイドブック（多言語版）の作成、配布	八王子市総合防災ガイドブック（英語、中国語、韓国語）の作成、配布	H30	⇒	→	→	八王子市総合防災ガイドブック第２版の外国語版（英語、中国語、韓国語）を作成・配布した。 冊子版のほか、電子ブック版を多言語翻訳電子書籍対応アプリを活用し、日本語のほか9言語で公開した。	
コミュニケーション支援ボードの作成・配備	災害発生時の避難所等において、コミュニケーションを円滑に行うツールとして、「コミュニケーション支援ボード」を作成し、市内の避難所や一時滞在施設に配備する。	H30	→	→	→	英語、中国語、韓国語に対応した「コミュニケーション支援ボード」を市内の避難所や一時滞在施設に配備した。	

施策No.23　外国人市民への防災・災害対応に関する意識の啓発

R3年度取組み数：７

【施策概要】新たに多言語版防災マニュアルを作成するほか、各種防災訓練への参加を促進し、防災・災害対応に関する知識を学ぶ機会の充実を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
八王子市総合防災ガイドブック（多言語版）の作成、配布	八王子市総合防災ガイドブック（英語、中国語、韓国語）の作成、配布	H30	⇒	→	→	八王子市総合防災ガイドブック第２版の外国語版（英語・中国語・韓国語）を作成・配布した。 冊子版のほか、日本語の他9言語に対応した翻訳アプリを活用しガイドブックを公開した。	外国人市民の防災意識が高まるよう、八王子市総合防災ガイドブック（多言語版）の活用のほか、防災訓練への参加を支援していく。

施策No.24　災害時における外国人支援の仕組みの整備

R3年度取組み数：７

【施策概要】災害時外国人支援マニュアルの見直し等、外国人支援の仕組みの検証及び再整備を検討する。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
市民センター避難所開設訓練	市民センター避難所等開設訓練にて外国人防災訓練を実施	H24	→	→	→	市民センター避難所等開設訓練において、外国人避難者への対応を想定した訓練及び語学ボランティアへの通信訓練等を実施した。	
八王子国際協会災害時外国人対応要領	八王子国際協会の災害時対応について「八王子国際協会災害時外国人対応要領」にて規定	H24	▲	→	→	外国人支援センターの設置場所変更や災害時における語学ボランティアの活動内容の見直しを行った。また、その内容を語学ボランティアに周知。	

施策No.25　災害時の通訳ボランティアの育成・支援

R3年度取組み数：6

【施策概要】外国人留学生などにもボランティアの登録を働きかけるとともに、登録者を対象とした研修等によるスキルアップを図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
語学ボランティアの防災訓練への参加	語学ボランティア等が外国人市民と共に町会・自治会による防災訓練や総合防災訓練に参加できるよう支援する。	H25	→	→	→	八王子市総合防災訓練に参加し、英語・中国語・韓国語の通訳を務めた	

施策No.26　外国人留学生への生活支援

R3年度取組み数：9

【施策概要】在住外国人サポートデスクの利用促進や大学等担当者間の情報共有の充実など、大学コンソーシアム八王子や関係機関と連携し、外国人留学生への生活支援の充実を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
外国人留学生支援事業	大学コンソーシアム八王子の外国人留学生支援事業を支援し、留学生のイベントへの参加・生活支援を促進する。	H25	→	→	→	大学コンソーシアム八王子　外国人留学生支援事業として、 【留学生対策ワーキンググループ会議】3回開催 【勉強会】21名参加 【留学生座談会】　33名（講師・オブザーバー等18名、参加学生15名）	R2年度をもって外国人留学生奨学金制度を廃止。R3年度より新たな支援制度を開始。支援の充実に向けて検討していく。
外国人留学生住居賃貸代行保証料補助金制度	外国人留学生が八王子市で賃貸住宅を借り、保証人代行制度を利用した際の一部を補助	H19	⇒	→	→	R3年度から、対象を日本語学校の学生等にも拡大。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、利用件数は伸びなかったものの、日本語学校等の生徒の利用割合は高く、ターゲットを拡大した効果が確認できる。 【利用件数】16件	
外国人留学生ガイドブック	主に新入留学生を対象に、八王子での新生活をスムーズに開始できるよう、各種手続や災害情報など、生活の基本的情報を掲載したパンフレットを作成、配布。	R2	→	→	→	パンフレット「留学生のための生活ガイド」を作成。 入学シーズンに市内の大学・日本語学校等に配布。	

施策No.27　外国人留学生への就職支援　重点

R3年度取組み数：2

【施策概要】大学コンソーシアム八王子や関係機関との連携により、外国人留学生及び市内企業のニーズを把握し、市内での就職を希望する外国人留学生の就職を支援する。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
就職に関する情報の提供	日本で就職を希望される外国人市民や外国人留学生向けに情報を収集し、ホームページ等を活用して情報提供を図る。	R1	→	→	→	日本で就職を希望される外国人向けの情報ページを作成し、市が実施する就職支援セミナーのほか、関連機関の情報等を提供している。	

施策No.28　外国人留学生の能力を活用した地域活性化　新規･重点

R3年度取組み数：8

【施策概要】外国人留学生ならではの視点や能力を活かし、地域活性化につながる活動ができるよう支援する。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
助っ人留学生制度	地域との交流意欲がある留学生と、その能力を活かした活動の場をマッチングする制度。地域社会とのコミュニケーションと交流活動を促進する。	R3	☆	→	→	新型コロナの影響により活動は限られたが、総合防災訓練に10名の参加があった。引き続き、状況を注視しつつ、参加する学生の募集と活動のメニューの検討を進める。 【登録者数】16人	地域社会の一員として留学生が活動に参加できるよう内容を検討する。
外国人留学生による小・中学校でのゲストティーチャー	市内の小・中学校で出身国の文化や生活を紹介し、国際理解を推進に寄与する。	不明	→	→	→	11月 甲ノ原中学校「海外の国と日本の文化等の違いを知る」 留学生：3人（拓殖大学） 3月　第四中学校「外国人から見た日本の現状について」 留学生：3人（拓殖大学）	

施策No.29　日本語学校に所属する外国人留学生の支援　新規

R3年度取組み数：11

【施策概要】日本語学校に所属する留学生へアンケート調査を実施するなどにより実態を把握し、支援策等を検討する。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
外国人留学生に対するごみの出し方の啓発	主に新入留学生を対象に、新生活で戸惑うことが多いごみ・資源物の出し方について易しく啓発したパンフレットを、市の指定収集袋と併せて配布。	R3	☆	→	→	多言語でパンフレットを作成。 入学シーズンにあわせ各大学、日本語学校等に指定収集袋とセットで配布。好評をいただいている。要望に応じ、出前授業などにも関連部署と連携しながら対応する。 作成言語：やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム、ネパール、韓国語	これまでの各種情報提供のほか、日本語学校の留学生が地域と交流する機会を持てるよう検討する。
日本語能力試験受験料補助金	日本語能力試験の受験料を補助することで、外国人留学生のコミュニケーション能力の向上と、地域社会との交流意欲の醸成を図る。	R3	☆	→	→	N1の合格者が対象。各学校からモチベーションになると好評をいただいている。対象者は多いため、引き続き各大学、日本語学校等に周知を進める。	

施策No.30　多文化共生意識啓発に関する事業の実施

R3年度取組み数：9

【施策概要】多文化共生をテーマにした講演会、ワークショップや国際交流フェスティバルなどのイベント等を開催し、日本人市民の多文化共生意識の高揚を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
国際交流フェスティバル	日本人と外国人との交流を通じて、お互いの習慣や文化に対する理解を深め、地域の多文化共生を図ることを目的に国際交流フェスティバルを実施。	H11	△	▲	→	R3年度より生涯学習フェスティバル内で開催予定だったが、新型コロナウイルスウイルス感染症感染拡大の影響で縮小開催したため、多文化共生関連イベントは実施せず。R4年度も同フェスティバル内で実施予定。	イベントの開催のほか、映像やパンフレットを活用し、市民への多文化共生意識の啓発を進める。
多文化共生意識啓発パンフレット作成	啓発のための冊子を作成し、市民の多文化共生意識の醸成を図る。	R1	→	→	→	わかりやすい内容で多文化共生について解説した冊子をR1年度に作成。R2年度は、引き続き配布したほか、市のホームページにて公開。今後も啓発に活用していく。	
多文化共生意識啓発のための映像制作	啓発のための映像を制作し、市民の多文化共生意識の醸成を図る。	R1	→	→	→	大学での留学生のようすや、外国人を雇用している企業を取材し制作した易しい内容の映像を、ホームページでの公開などを通して、啓発に活用。	

施策No.31　多文化共生を推進する市民の育成　重点

R3年度取組み数：5

【施策概要】ワークショップ等を企画し、多文化共生を推進する市民を育成するとともに、外国人・日本人市民が主体的に活動を行える環境を整備する。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
多文化共生講演会・映画会	多文化共生意識の啓発のため講演会を実施	27	▲	→	→	映画上映会「バベルの学校」を実施。満席となり、注目の高さがうかがえた。参加者からも好評だった。	多文化共生について考えるきっかけとしてもらえるよう、講座等を実施。
市民向け国際理解研修	市民向けに研修・ワークショップ等を開催し、国際理解・多文化共生意識の醸成を図る。（国際協会実施事業）	R2	→	→	→	市民向け国際理解研修 【テーマ】シチズンシップを学ぶワークショップ 【参加者数】27名	

施策No.32　多文化共生意識啓発期間の設定　新規

R3年度取組み数：1

【施策概要】多文化共生意識への理解を深めるため、多文化共生意識を啓発する期間を設定し、イベントの集中実施、ポスター掲示などを行う。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
多文化共生意識啓発期間の設定	イベントの集中実施を図り、効果的な啓発を行う。	R1	▲	→	→	12月に海外友好交流都市写真展と、生涯学習センター図書館での企画展が同時期に開催された。 そのほか、年間を通して啓発を行った。	

施策No.33　国際理解の推進

重点

R3年度取組み数：19

【施策概要】オリンピック・パラリンピック教育や国際理解教育の実施に加え、世界の文化に触れる機会を創出し、国際理解の推進を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
海外友好交流都市写真展	海外友好交流都市を紹介する写真展を実施	H19	→	→	→	海外友好交流都市写真展を八王子駅南口総合事務所で実施（12月）。 【来場者数】　3,317名	
東京2020大会事前キャンプ等受入れによる国際交流の推進	東京2020大会に向けたUSAクライミングの強化合宿と事前キャンプの受入れ時に市民との国際交流を実施	R1	→	×		市内義務教育学校から応援メッセージや折り紙作品などをチームへ贈呈し、返礼としてサイン入りのプレゼントが贈呈された。また、選手から市民に向けた動画のメッセージやサイン入りTシャツ等が送られるなど、非接触での交流を実施。	

施策No.34　国際協力団体等との連携による国際協力及び啓発

R3年度取組み数：2

【施策概要】国際協力団体や大学等と連携し、開発途上国等を支援するとともに、国際協力活動や倫理的（エシカル）消費の啓発活動等の周知を図る。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
倫理的（エシカル）消費の啓発	フェアトレード商品の購入など、人や社会・環境に配慮した消費行動を推進するため、倫理的（エシカル）消費関連の各種啓発活動を実施する。	H29	→	→	→	・広報特集号に倫理的（エシカル）消費を掲載し啓発を行った。 ・中学生向け消費者教育副読本に倫理的（エシカル）消費を掲載し、中学生への啓発を行った。	国際協力団体や大学等との連携を図り、エシカル消費の啓発やJICA草の根技術協力事業などの先進的な事業が行われている。
資源循環技術協力による国際支援	平成29年度（2017年度）から令和元年度（2019年度）の3年間、JICA草の根技術協力事業のもと、ミクロネシア連邦チューク州においてごみ問題改善プロジェクトを実施し、発展途上国のごみ問題改善に向けて取り組んできた。 プロジェクト終了後も、本市が有するごみ減量や適正処理に関する技術及び経験を、発展途上国における廃棄物管理への支援に活かすため、関係機関と連携しながら、資源循環技術協力による国際支援を継続する。	H29	⇒	→	→	・視察受入PR冊子・動画を作成し、市ホームページに掲載した。 ・国土交通省主催の「地方自治体における都市開発分野の海外展開に向けた交流イベント」に参加し、途上国が抱える廃棄物処理分野における都市課題についての情報共有を行った。 ・創価大学で国際協力に関する講義を行った。	

施策No.35　外国人観光客等への観光案内　重点

R3年度取組み数：16

【施策概要】関係機関と連携し、海外へのPR、多言語による観光情報等を充実するとともに、外国人市民や外国人留学生、語学ボランティア等を活用した観光案内の体制を構築する。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
多言語ホームページ（観光情報）	観光コンベンション協会ホームページの多言語化	H25	→	⇒	→	令和4年度に作成予定の観光総合ホームページにおいて、自動翻訳ではなく多言語ページを設け多言語化の充実を図ることに加え、写真・動画等の視覚的に伝わる情報についても充実させていく。	
外国語版観光ガイドマップ	外国語版観光ガイドマップを作成する。	H25	→	⇒	→	・令和3年度に作成したデジタル観光ガイドブックの内容・機能を充実させるとともに、令和4年度に作成予定の観光総合ホームページとの連携も図ることで、スマートフォン・タブレット等による情報収集を容易にし、外国人観光客の利便性の向上を図る。 ・QRコード付きのポスターを東京観光財団の観光案内所やイベント等で掲出し、本市の魅力発信に努めた。 ・八王子観光コンベンション協会において、日本語と英語を併記し、QRコードを付記した八王子総合ガイドブックを発行している。来訪者の利便性及び情報取得の効率化を図った。	

施策No.36　おもてなしマインドの推進　新規

R3年度取組み数：2

【施策概要】観光施設や商店街等における外国人観光客対応を支援し、外国人観光客へのおもてなしマインドを推進する。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール 開始年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度の事業実績など	その他
中心市街地おもてなし通信環境の整備	中心市街地において、外国人観光客を含めた来街者の利便性の向上を図るため、無料のWi-Fi環境を提供するとともに中心市街地のお店情報等を多言語で発信する。	H28	→	→	→	中心市街地に設置した７か所のWi-Fiスポットにおいて、年間を通して通信環境を適切に提供した。	

施策No.37　国際的なビジネスイベントへの対応　新規

R3年度取組み数：4

【施策概要】国際的なビジネスイベント等の受入れに必要な事業者間の連携体制を構築する。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
MICEの推進	外国人市民や外国人留学生を活用したMICEボランティアの登録、派遣体制の整備を行う。	H30	→	→	→	MICE受け入れによる外国人ツアー客へのガイドに向けて、市民ボランティア団体へMICEのレクチャーを行う。 セミナー 1回　ボランティア派遣 1回	

施策No.38　海外友好交流都市との交流

R3年度取組み数：11

【施策概要】海外友好交流都市に関連したイベントを通じて各都市の魅力を周知するとともに、各都市との活発な交流を促進する。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
台湾・高雄市とのパフォーマンス団相互派遣	八王子まつり及び高雄ランタンフェスティバルでのパフォーマンス団を相互派遣する。	H18	△	△	→	R3年度の八王子まつりは中止。 高雄ランタンフェスティバルへのパフォーマンス団の派遣も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により派遣を休止。	しばらくは新型コロナウイルス感染症の影響で、人の往来による直接の交流は難しいと思われる。オンラインの活用など、さまざまな形での交流を検討していく。
台湾・高雄市からの図書寄贈	友好協定から15周年を記念して高雄市の図書館から、台湾、高雄市に関する図書の寄贈を受けた。	R3	☆			寄贈を受け、生涯学習センター図書館にてテーマ展示を開催（12月）。 高雄市においても、八王子をテーマにした図書のテーマ展示が実施された。	

施策No.39　青少年による文化・スポーツ等の海外交流事業の推進

R3年度取組み数：4

【施策概要】海外都市とのスポーツ、文化、音楽等の青少年交流事業を継続して行っていくほか、インターネット等の活用により、多種多様な交流事業を推進する。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
青少年海外交流事業	異文化交流を通じて豊かな国際感覚を育成するため、海外友好交流都市へ青少年（中学生）を派遣する。	H19	⇒	→	→	台湾高雄市との海外交流事業において、参加者の国際感覚や語学力、自己PR力の向上を図るために英会話やプレゼンテーションを学ぶ事前研修を実施した。また、「新しい生活様式」に対応した海外交流の在り方として、オンラインによる交流を10名の参加者と行った。	新型コロナウイルス感染症拡大等の影響を受け、R2年度は中止、R3年度はオンラインでの交流となったが、感染状況や国際情勢を考慮し、派遣を再開する。

施策No.40　市民・民間団体等の海外交流事業の支援

R3年度取組み数：6

【施策概要】市民団体や民間企業を対象に、経済、文化、スポーツなど様々な分野での海外交流を継続的に支援する。

記号説明　☆：開始　→：継続　⇒：充実　▲：見直し　△：休止　×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				R3年度の事業実績など	その他
		開始年度	R3年度	R4年度	R5年度		
海外交流支援デスク	海外友好交流都市との市民交流が活発に実施されるための相談窓口として海外交流支援デスクを設置する。	H18	→	→	→	海外交流支援デスクにおいて市民交流支援。 新型コロナウイルス感染症の影響で、人の往来はできなかったが、手紙・オンラインなどによる交流を行った。 【調整件数】11件	新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での交流は難しいが、オンラインなどを活用し,交流を支援していく。
海外交流事業支援	市民団体における海外交流事業支援	不明	→	→	→	・韓国海外交流都市芸術フェスティバルでの調整 ・台湾・日本多文化共生フェスティバルへの協力 ・ドイツ・ヴリーツェン市へ千羽鶴を送付　　など計7件	